

## 周産期委員会

委員長 齋 藤 滋  
副委員長 海 野 信也

委 員 金山 尚裕, 竹田 省, 松田 義雄, 水上 尚典

### 常置委員会

#### 1. 周産期登録事業

小委員長：佐藤 昌司

委員：塩崎 有宏, 住本 和博, 竹田 善治, 藤森 敬也, 宮下 進, 室月 淳

#### 2. 周産期における未承認薬の承認にむけての活動

小委員長：竹田 省

委員：伊東 宏晃, 海野 信也, 久保 隆彦, 小林 隆夫, 齋藤 滋, 平松 祐司, 松田 秀雄

#### 3. 胎児機能不全診断基準とその妥当性の検討委員会

小委員長：池田 智明

委員：岡井 崇, 上妻 志郎, 鮫島 浩, 千坂 泰, 松岡 隆, 米田 哲

### 小委員会

#### 1. 早産のリスク因子の解明と具体的な予防法確立に関する小委員会

小委員長：齋藤 滋

委員：伊東 宏晃, 大槻 克文, 金山 尚裕, 塩崎 有宏, 竹田 省, 秦 利之, 増崎 英明

#### 2. 周産期救急医療体制の構築とその対応に関する小委員会

小委員長：海野 信也

委員：池田 智明, 岡井 崇, 川端 正清, 久保 隆彦, 小林 隆夫, 中林 正雄

#### 3. 新しい妊婦健診体制に関する小委員会

小委員長：松田 義雄

委員：上妻 志郎, 佐藤 昌司, 鮫島 浩, 千坂 泰, 中井 章人, 平松 祐司, 水上 尚典, 松原 茂樹

---

## 常置委員会

## 1. 周産期登録事業

佐藤昌司<sup>1)</sup>, 塩崎有宏<sup>2)</sup>, 住本和博<sup>2)</sup>,  
竹田善治<sup>2)</sup>, 藤森敬也<sup>2)</sup>, 宮下 進<sup>2)</sup>,  
室月 淳<sup>2)</sup>  
[<sup>1)</sup>委員長, <sup>2)</sup>委員]

周産期統計(2009年)

## 1. 調査対象と方法

対象は登録に参加した131施設(2008年:118施設)において, 2009年に出産した妊娠22週以降の76,113例である。調査項目は調査票の産科入力画面の記入項目である。調査個票はファイルメーカー Pro を用い, 各施設で直接入力いただいた。さらに, 妊婦氏名, ID, 住所, 電話番号等の個人情報に消去されるようにプログラムして回収した。未入力あるいは誤入力は専門委員によって精度チェックし修正したものをデータベースとした。本データベースは個人情報が削除された分娩個票が統計解析に寄与できる状態で保管されており, 日本産科婦人科学会の会員であれば研究目的を明らかにし, 周産期委員会委員長に申し込めばこのデータを使用できる。

調査結果は周産期委員会で回収, 分析し, その結果は平成23年1月28日開催の周産期委員会で承認された。

## 2. 登録施設

登録施設合計131施設, 施設区分内訳は大学病院76, 国立病院(機構)11, 赤十字病院11, その他の病院33であった。

## 3. 周産期登録成績

## 1) 主要全体統計(表1)

出産数76,113, 22週以降の死産数682, 生産数75,431, 早期新生児死亡数269であった。周産期死亡数は951であった。本統計の出産数76,113は同期間における我が国全体の出産数(妊娠22週以降)1,073,680の7.1%であるが, 本統計における周産期死亡数は我が国全体同期間の周産期死亡数4,519の21.0%となる。このように死亡が集積する原因は例年同様, 参加施設が周産期医療の2次・3次センターであるためと考えられた。

## 2) 母体搬送の集計

有効回答数(記載なし・無効入力を除く)76,113中, 母体搬送は10,939件であり, うち緊急搬送は5,544(有効回答の7.3%)であった。

## 3) 妊娠回数と分娩回数

妊娠回数に関する有効回答数75,418中, 初妊は28,963(38.4%), また, 分娩回数に関する有効回答数76,017中, 初産は40,479(53.2%)であった。

表1 全体統計(2009年)

|                | 全体     | ～499g   | 500～999g | 1,000g以上 | 体重不明・記載なし | 22～27週 | 28週以降  | 週数不明・記載なし |
|----------------|--------|---------|----------|----------|-----------|--------|--------|-----------|
| (a) 出産数*       | 76,113 | 373     | 1,360    | 74,379   | 1         | 1,388  | 74,670 | 55        |
| (b) 生産数        | 75,431 | 197     | 1,194    | 74,040   | 0         | 1,141  | 74,239 | 51        |
| (c) 死産数(22週以降) | 682    | 176     | 166      | 339      | 1         | 247    | 431    | 4         |
| (d) 死産率        | 9.0    | 471.8   | 122.1    | 4.6      | 1,000.0   | 178.0  | 5.8    | 72.7      |
| (e) 早期新生児死亡数   | 269    | 35      | 56       | 178      | 0         | 80     | 188    | 1         |
| (f) 早期新生児死亡率   | 3.6    | 177.7   | 46.9     | 2.4      | 0.0       | 70.1   | 2.5    | 19.6      |
| (g) 周産期死亡数     | 951    | 211     | 222      | 517      | 1         | 327    | 619    | 5         |
| (h) 周産期死亡比     | 12.6   | 1,071.1 | 185.9    | 7.0      | 0.0       | 286.6  | 8.3    | 98.0      |
| (i) 周産期死亡率     | 12.5   | 565.7   | 163.2    | 7.0      | 1,000.0   | 235.6  | 8.3    | 90.9      |
| (j) 後期新生児死亡数   | 45     | 8       | 14       | 23       | 0         | 17     | 28     | 0         |
| (k) その他時期死亡数   | 20     | 5       | 3        | 12       | 0         | 5      | 15     | 0         |
| (L) 剖検数        | 100    | 19      | 16       | 65       | 0         | 25     | 74     | 1         |
| (m) 剖検率        | 9.8    | 8.5     | 6.7      | 11.8     | 0.0       | 7.3    | 11.2   | 20.0      |

死産率 (d) = (c)/(a) × 1,000

早期新生児死亡率 (f) = (e)/(b) × 1,000

周産期死亡数 (g) = (c) + (e)

周産期死亡比 (h) = (g)/(b) × 1,000

周産期死亡率 (i) = (g)/(a) × 1,000

剖検率 (m) = (L)/(g + j + k) × 100

\*: 明らかな誤入力および不良データを除いた採用データを出産数とし, 他の統計値もこの母集団を基に算出した。

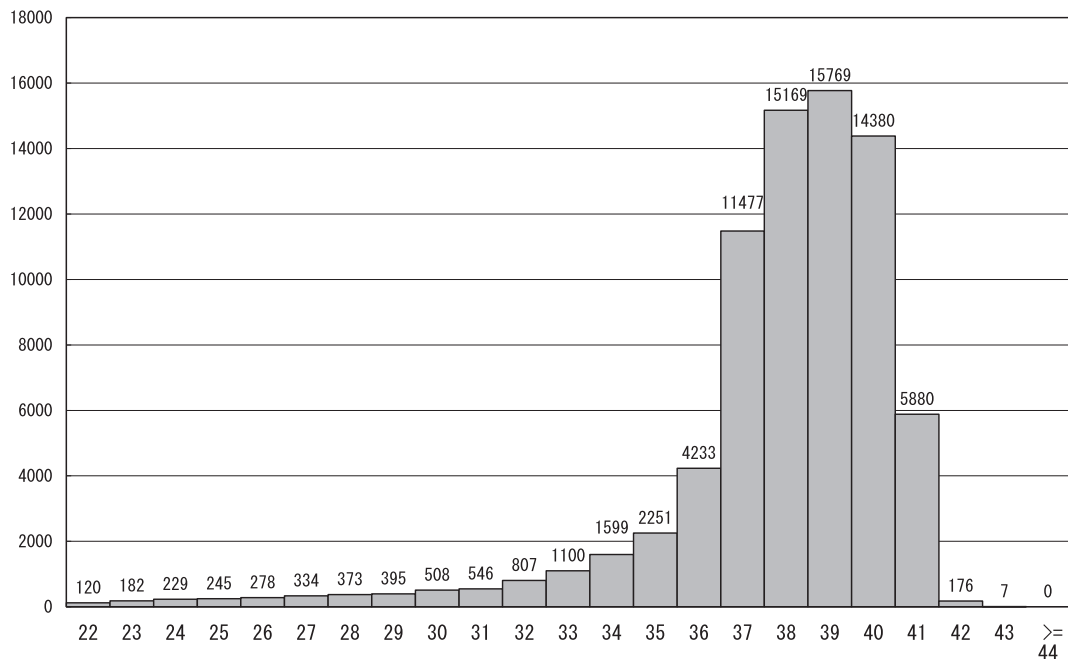


図1 分娩週数の分布

## 4) 分娩時母体年齢

有効回答数76,108中, 14歳以下: 11, 15~19歳: 914, 20~24歳: 5,907, 25~29歳: 17,885, 30~34歳: 27,398, 35~39歳: 19,473, 40~44歳: 4,354, 45~49歳: 147, 50歳以上: 19であった。

## 5) 不妊治療

有効回答数76,113中, 7,884(10.4%)が不妊治療による妊娠であった。排卵誘発が2,317, 体外受精3,455, AIH 1,581, その他1,136(重複回答あり)であった。

## 6) 分娩胎位

有効回答数76,113中, 頭位69,920(91.9%), 骨盤位5,223(6.9%), その他970(1.3%)であった。

## 7) 分娩方法

有効回答数76,113中, 自然経膣分娩45,281, 吸引分娩3,805, 鉗子分娩570, 予定帝王切開13,848, 緊急帝王切開12,096であった。

## 8) 帝王切開率

全体の帝王切開率(予定+緊急)は34.1%であった。

## 9) 分娩週数

有効回答数76,058中の分娩週数を図1にヒストグラムで示す。

## 10) 出産体重

有効回答数76,092中の子の出産体重別分娩数を図2に示す。

## 11) 性別

有効回答数76,113中, 男: 39,226, 女: 36,767, 不詳120であった。

## 12) アプガールスコア1分値, 5分値の分布

アプガールスコア1分値, 5分値の分布を図3に示す。不詳または記載なしは1分値, 5分値それぞれ214, 901であった。

## 13) 分娩時出血量

有効回答数74,643中, 分娩時出血量は0~499g: 39,379, 500~999g: 21,895, 1,000~1,499g: 7,943, 1,500~1,999g: 3,133, 2,000~2,499g: 1,222, 2,500~2,999g: 493, 3,000g以上: 578であった。1,000g以上の出血は全体の17.9%, 1,500g以上の出血は7.3%, 2,000g以上は3.1%, 3,000g以上は0.8%であった。

## 14) 誘発促進分娩の有無

有効回答数76,113中, 誘発促進分娩は17,948件(23.6%)であった。

## 15) 分娩時CTG異常の有無と異常の種類

有効回答数73,600中, 異常ありは17,331(23.5%)で

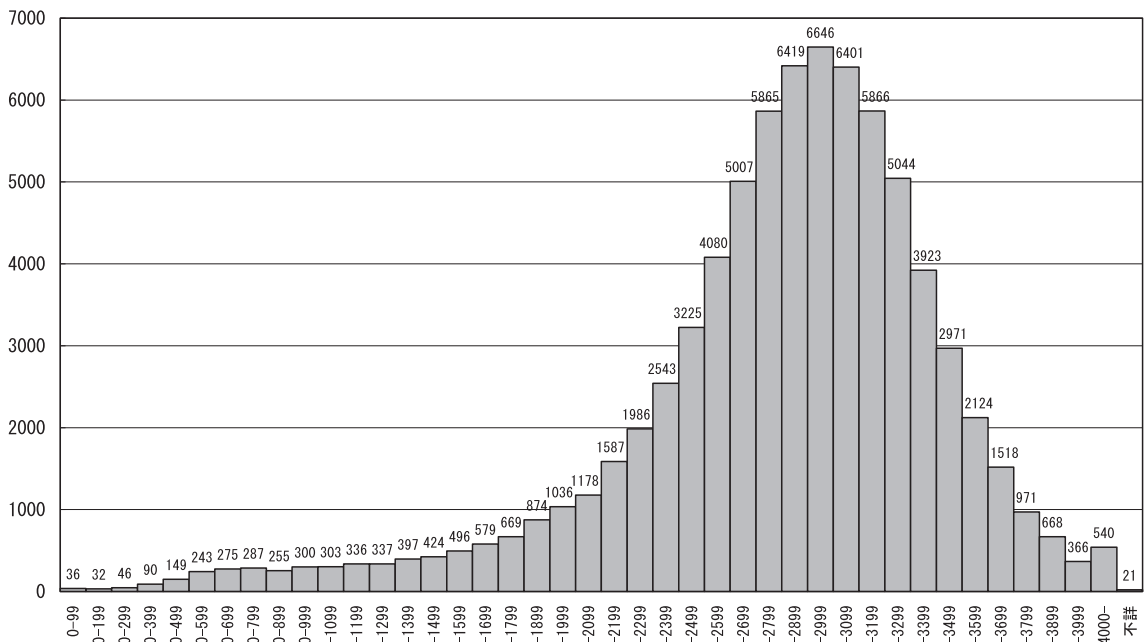


図2 出生体重の分布

あった。CTG異常の種類は、早発一過性徐脈：2,595、軽度変動一過性徐脈：7,904、基線細変動の消失：497、持続性頻脈：339、遅発一過性徐脈：1,822、高度変動一過性徐脈：4,268、遷延性徐脈：1,626、その他の異常所見1,618(重複あり)であった。

#### 16) 母体疾患

有効回答数76,113中、母体疾患は22,415例(29.4%)に合併した。その内訳(重複あり)を図4に示す。

#### 17) 妊娠合併症

有効回答数76,113中、妊娠合併症ありは43,180例(56.7%)であった。その内訳を図5に示す。

#### 18) 母体死亡

母体死亡は10例であった。死亡原因は、羊水塞栓、脳出血、悪性リンパ腫が各々3例、自殺(うつ病)が1例であった。

#### 19) 単胎・多胎

有効回答数76,113(出産児数)中、単胎70,116例、双胎5,812例(2,906組)、三胎181例(61組)、四胎4例(1組)であった。

### 4. 周産期死亡統計

#### 1) 主要臨床死因別統計

周産期死亡の主要臨床死因別統計は、妊娠高血圧症

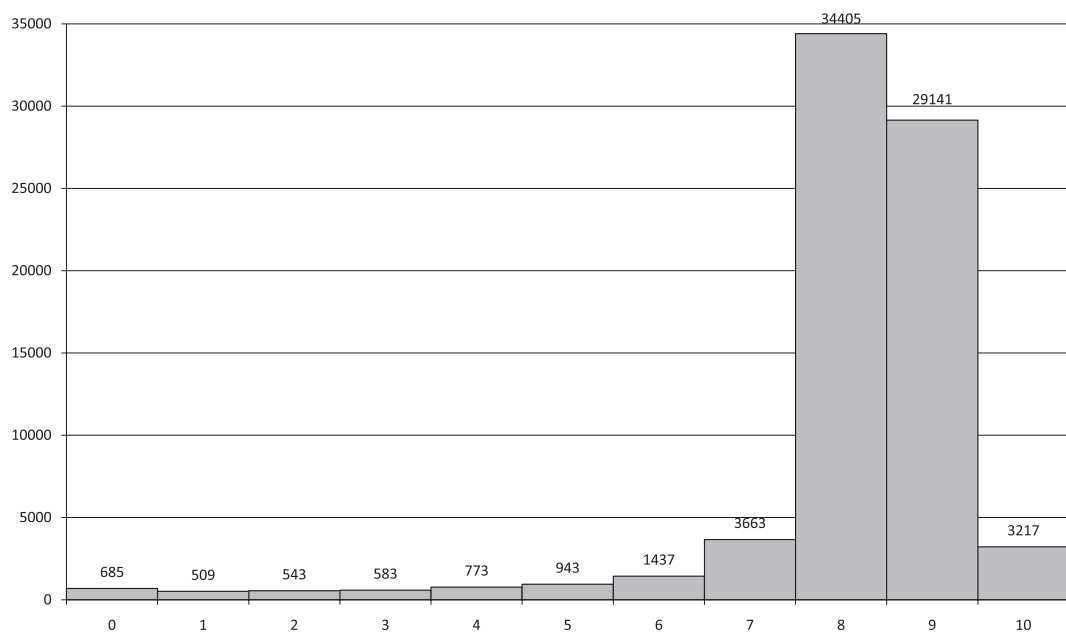
候群、母体疾患、前置胎盤、常位胎盤早期剝離、その他の胎盤異常、臍帯の異常、胎位・胎勢・回旋の異常、以上に含まれない新生児呼吸障害、以上に含まれない胎児・新生児低酸素症、以上に含まれない胎児・新生児損傷、以上に含まれない低出生体重、奇形、胎児・新生児の溶血性疾患、周産期の感染、多胎妊娠・双胎間輸血症候群、非免疫性胎児水腫、その他(不明を含む)の17死因とした。以上の主要死因別に死因別死亡数、全死亡数に対する割合、死産数、早期新生児死亡数、出生体重別死亡数(～499g、500～999g、1,000g以上)、分娩週数別死亡数(22～27週、28週以降)を表2に示した。

#### 2) 登録施設別周産期統計

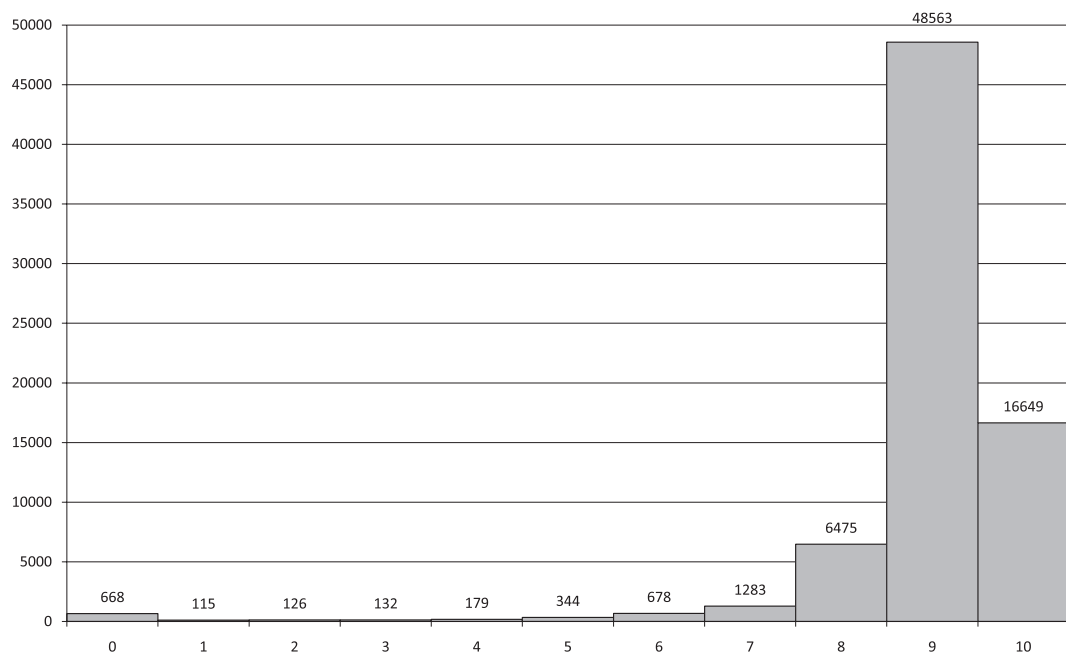
131登録施設ごとの出産数、死産数、生産数、早期新生児死亡数、死産率、早期新生児死亡率、周産期死亡数、周産期死亡比、周産期死亡率、剖検数、剖検率を表3に示した。

#### 5. 周産期登録の現状

全出産登録方式によるデータベース集計を開始して9年目となる。例年、登録出産数は本邦における全出産数の5～6%、周産期死亡数は本邦の全周産期死亡数の15～20%と、本登録が高次病院におけるハイリスク妊



(1分値)



(5分値)

図3 Apgar スコア

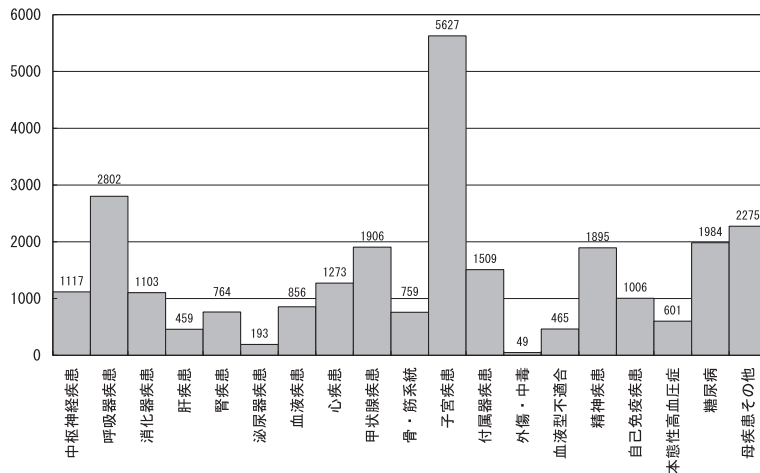


図4 母体疾患(重複あり)

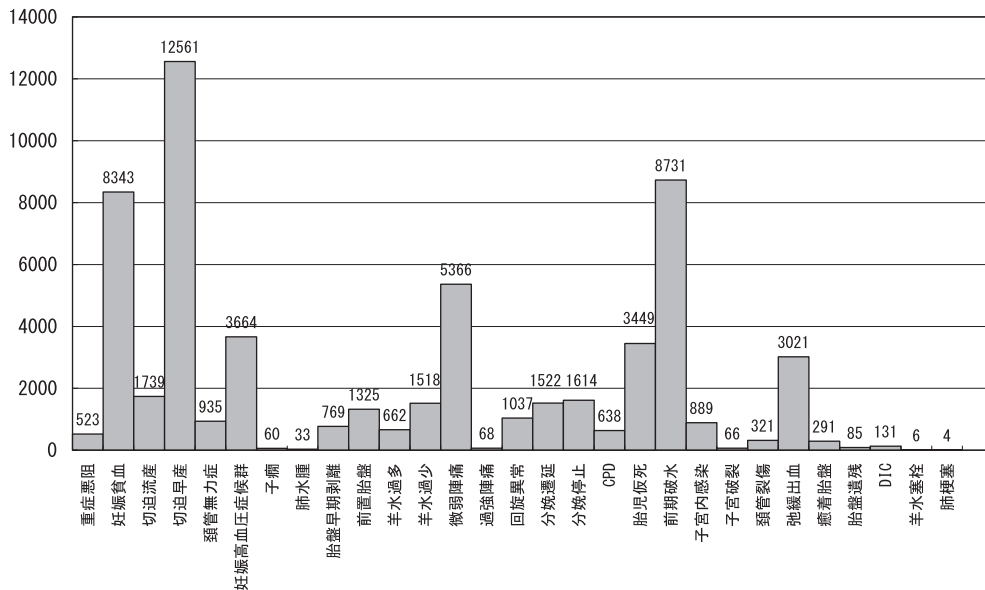


図5 妊娠合併症(重複あり)

娠分娩例を多く包含した母集団となっている。2009年  
はとりわけ、これまでで最も多い参加施設数が得られ、  
登録数は本邦における全出産数の7.1%と過去最多で  
あった。

本データベースは日本産科婦人科学会の会員であれば、  
周産期委員会委員長に学術目的に使用する旨申し  
出て許可を得ることにより使用することができる。  
2001～2009年の間に臨床研究への利用を目的とした  
蓄積データの利用申請が計50件寄せられ、許可が得ら

れている。本邦において高次周産期施設の全分娩に関  
する周産期情報が蓄積されているデータベースは他に  
無いものであり、今後も引き続き多方面からの解析研  
究、発表・投稿を通じて本データベースの医学的・社  
会的意義を高めていただけるよう期待する。一方で、  
本登録業務は各施設の自発的な参加意志によって継続  
されており、かつ登録施設の負担は大きい。これに対  
して、個々の登録参加施設に対して周産期専門施設と  
して認証されるべく広報面あるいは資格面から早急に

表2 主要臨床死因別統計

| 主要臨床死因                     | 死因別<br>死亡数 | %      | 死産数 | 早期新<br>生児<br>死亡数 | 後期新<br>生児<br>死亡数 | 新生児<br>期以降<br>死亡数 | ～499g | 500～<br>999g | 1,000g<br>以上 | 体重不<br>明・記<br>載なし | 22～<br>27週 | 28週<br>以降 | 週数不<br>明・記<br>載なし |
|----------------------------|------------|--------|-----|------------------|------------------|-------------------|-------|--------------|--------------|-------------------|------------|-----------|-------------------|
| (1) 妊娠高血圧症候群               | 4          | 0.4%   | 3   | 1                | 0                | 0                 | 2     | 2            | 0            | 0                 | 3          | 1         | 0                 |
| (2) 母体疾患                   | 2          | 0.2%   | 2   | 0                | 0                | 0                 | 1     | 0            | 1            | 0                 | 1          | 1         | 0                 |
| (3) 前置胎盤                   | 2          | 0.2%   | 1   | 1                | 0                | 0                 | 1     | 0            | 1            | 0                 | 1          | 1         | 0                 |
| (4) 常位胎盤早期剝離               | 103        | 10.1%  | 95  | 7                | 1                | 0                 | 2     | 9            | 92           | 0                 | 11         | 91        | 1                 |
| (5) その他の胎盤異常               | 46         | 4.5%   | 42  | 3                | 1                | 0                 | 22    | 11           | 13           | 0                 | 25         | 21        | 0                 |
| (6) 臍帯の異常                  | 104        | 10.2%  | 103 | 1                | 0                | 0                 | 26    | 28           | 50           | 0                 | 41         | 63        | 0                 |
| (7) 胎位・胎勢・回旋の異常            | 3          | 0.3%   | 1   | 2                | 0                | 0                 | 2     | 1            | 0            | 0                 | 3          | 0         | 0                 |
| (8) 以上に含まれない新生児呼吸<br>障害    | 32         | 3.1%   | 1   | 27               | 3                | 1                 | 8     | 10           | 14           | 0                 | 17         | 15        | 0                 |
| (9) 以上に含まれない胎児・新生児<br>低酸素症 | 20         | 2.0%   | 9   | 11               | 0                | 0                 | 4     | 6            | 10           | 0                 | 7          | 13        | 0                 |
| (10) 以上に含まれない胎児・新生<br>児損傷  | 8          | 0.8%   | 1   | 5                | 2                | 0                 | 1     | 5            | 2            | 0                 | 6          | 2         | 0                 |
| (11) 以上に含まれない低出生体重         | 64         | 6.3%   | 33  | 23               | 8                | 0                 | 26    | 30           | 8            | 0                 | 54         | 10        | 0                 |
| (12) 奇形                    | 277        | 27.3%  | 123 | 131              | 15               | 8                 | 16    | 50           | 211          | 0                 | 31         | 246       | 0                 |
| (13) 胎児・新生児の溶血性疾患          | 1          | 0.1%   | 0   | 1                | 0                | 0                 | 0     | 0            | 1            | 0                 | 0          | 1         | 0                 |
| (14) 周産期の感染                | 36         | 3.5%   | 15  | 16               | 5                | 0                 | 9     | 17           | 10           | 0                 | 26         | 9         | 1                 |
| (15) 多胎妊娠・双胎間輸血症候群         | 49         | 4.8%   | 36  | 9                | 3                | 1                 | 37    | 7            | 4            | 1                 | 19         | 30        | 0                 |
| (16) 非免疫性胎児水腫              | 29         | 2.9%   | 23  | 6                | 0                | 0                 | 4     | 4            | 21           | 0                 | 10         | 19        | 0                 |
| (17) その他・不明                | 236        | 23.2%  | 194 | 25               | 7                | 10                | 63    | 59           | 114          | 0                 | 94         | 139       | 3                 |
| 合計                         | 1,016      | 100.0% | 682 | 269              | 45               | 20                | 224   | 239          | 552          | 1                 | 349        | 662       | 5                 |

何らかのメリットを設定する必要がある、周産期委員会としてもこの方策について検討中である。

また、本データベース開始後10年余となり、この間に諸種の疾患基準あるいは判定基準が変更され、現在の臨床の実態にそぐわない入力項目も出てきていることから、現在データベース内容の改変に向けての取り組みを開始したところである。データ項目の改定とともに、将来的には新生児科の取り組んでいる児のフォローアップデータベースとのリンクも視野に入れたデータベース構築を目指していきたい。

## 2. 周産期における未承認薬の承認にむけての活動

竹田 省<sup>1)</sup>、伊東宏晃<sup>2)</sup>、海野信也<sup>2)</sup>、  
久保隆彦<sup>2)</sup>、小林隆夫<sup>2)</sup>、齋藤 滋<sup>2)</sup>、  
平松祐司<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>  
[<sup>1)</sup>委員長、<sup>2)</sup>委員]

一昨年から常置委員会となっており、未承認薬の承認(既存薬剤の産科領域での適応拡大、妊娠中の禁忌事項の緩和)を目指して活動を継続中である。

### 1. 抗Dグロブリン：D(Rho)因子による感作の防止

- ・当委員会より要望していた適応拡大、保険収載が承認された(平成22年11月)。

適応：

- 1) 分娩後、流産後、人工妊娠中絶後、異所性妊娠後、妊娠中の検査・処置後(羊水穿刺、胎位外回転術等)及び腹部打撲後等のD(Rho)感作の可能性がある場合

### 2. 妊娠28週前後

2. メトロニダゾールの嫌気性菌感染症(細菌性陰症を含む)の調査終了

・MFICU ネットワーク施設を中心に調査し、4,168件(経口薬358件、錠剤3,810件)の使用例が集積できた。細菌性陰症に対して経口では250mgを1日2錠が85.2%を占め、錠剤では250mgを7～10日使用が多かった。集計結果を厚労省に提出し、公知申請をすすめる。(塩野義製薬)

### 3. タミフルの妊婦投与後の調査

- ・日本産科婦人科学会で取りまとめ、日産婦学会 HP に掲載した(2010年11月24日)。

### 4. その他

- ・引き続き未承認薬の適応拡大を働きかけていく。  
(1) 不育症(抗リン脂質抗体症候群)に対してのヘパリンカルシウムの適応拡大(現在はヘパリンナトリウムのみ認められている。)

- ・「不育症」は適応拡大は現状では困難であり、「血栓症

表3 施設別集計

|                  | 出産数*<br>(a) | 死産数<br>(b) | 生産数<br>(c) | 早期<br>新生児<br>死亡数<br>(d) | 死産率<br>(e) | 早期<br>新生児<br>死亡率<br>(f) | 周産期<br>死亡数<br>(g) | 周産期<br>死亡率<br>(h) | 周産期<br>死亡率<br>(i) | 後期新<br>生児死<br>亡数<br>(j) | 新生児<br>期以降<br>死亡数<br>(k) | 剖検数<br>(L) | 剖検率<br>(m) |
|------------------|-------------|------------|------------|-------------------------|------------|-------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|--------------------------|------------|------------|
| 愛育病院             | 1,767       | 5          | 1,762      | 2                       | 2.8        | 1.1                     | 7                 | 4.0               | 4.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 愛知医科大学           | 362         | 4          | 358        | 0                       | 11.0       | 0.0                     | 4                 | 11.2              | 11.0              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 秋田赤十字病院          | 1,008       | 2          | 1,006      | 1                       | 2.0        | 1.0                     | 3                 | 3.0               | 3.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 秋田大学             | 416         | 6          | 410        | 2                       | 14.4       | 4.9                     | 8                 | 19.5              | 19.2              | 0                       | 0                        | 1          | 12.5       |
| 旭川医科大学           | 311         | 1          | 310        | 1                       | 3.2        | 3.2                     | 2                 | 6.5               | 6.4               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 旭中央病院            | 1,157       | 7          | 1,150      | 1                       | 6.1        | 0.9                     | 8                 | 7.0               | 6.9               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 足利赤十字病院          | 452         | 4          | 448        | 1                       | 8.8        | 2.2                     | 5                 | 11.2              | 11.1              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 岩手医科大学           | 369         | 3          | 366        | 11                      | 8.1        | 30.1                    | 14                | 38.3              | 37.9              | 2                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| NTT 東日本関東病院      | 679         | 2          | 677        | 0                       | 2.9        | 0.0                     | 2                 | 3.0               | 2.9               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 愛媛県立中央病院         | 1,443       | 23         | 1,420      | 1                       | 15.9       | 0.7                     | 24                | 16.9              | 16.6              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 愛媛大学             | 260         | 6          | 254        | 3                       | 23.1       | 11.8                    | 9                 | 35.4              | 34.6              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 大分県立病院           | 623         | 8          | 615        | 5                       | 12.8       | 8.1                     | 13                | 21.1              | 20.9              | 0                       | 1                        | 0          | 0.0        |
| 大分大学             | 134         | 2          | 132        | 1                       | 14.9       | 7.6                     | 3                 | 22.7              | 22.4              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 大阪市立大学           | 432         | 6          | 426        | 1                       | 13.9       | 2.3                     | 7                 | 16.4              | 16.2              | 0                       | 1                        | 0          | 0.0        |
| 大阪大学             | 555         | 9          | 546        | 4                       | 16.2       | 7.3                     | 13                | 23.8              | 23.4              | 1                       | 0                        | 3          | 21.4       |
| 大阪府立母子保健総合医療センター | 1,638       | 34         | 1,604      | 8                       | 20.8       | 5.0                     | 42                | 26.2              | 25.6              | 1                       | 1                        | 17         | 38.6       |
| 岡山市立市民病院         | 95          | 0          | 95         | 0                       | 0.0        | 0.0                     | 0                 | 0.0               | 0.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 岡山大学             | 299         | 5          | 294        | 5                       | 16.7       | 17.0                    | 10                | 34.0              | 33.4              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 沖縄県立中部病院         | 824         | 8          | 816        | 0                       | 9.7        | 0.0                     | 8                 | 9.8               | 9.7               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 沖縄県立南部医療センター     | 534         | 3          | 531        | 4                       | 5.6        | 7.5                     | 7                 | 13.2              | 13.1              | 1                       | 2                        | 0          | 0.0        |
| 香川大学             | 534         | 4          | 530        | 1                       | 7.5        | 1.9                     | 5                 | 9.4               | 9.4               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 鹿児島市立病院          | 705         | 11         | 694        | 4                       | 15.6       | 5.8                     | 15                | 21.6              | 21.3              | 1                       | 2                        | 4          | 22.2       |
| 鹿児島大学            | 277         | 2          | 275        | 3                       | 7.2        | 10.9                    | 5                 | 18.2              | 18.1              | 2                       | 1                        | 2          | 25.0       |
| 神奈川県立こども医療センター   | 527         | 30         | 497        | 31                      | 56.9       | 62.4                    | 61                | 122.7             | 115.7             | 2                       | 0                        | 19         | 30.2       |
| 金沢医科大学           | 266         | 1          | 265        | 1                       | 3.8        | 3.8                     | 2                 | 7.5               | 7.5               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 亀田総合病院           | 1,008       | 5          | 1,003      | 2                       | 5.0        | 2.0                     | 7                 | 7.0               | 6.9               | 0                       | 1                        | 1          | 12.5       |
| 川崎医科大学           | 32          | 0          | 32         | 0                       | 0.0        | 0.0                     | 0                 | 0.0               | 0.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 北里大学             | 1,115       | 9          | 1,106      | 1                       | 8.1        | 0.9                     | 10                | 9.0               | 9.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 北見赤十字病院          | 341         | 0          | 341        | 0                       | 0.0        | 0.0                     | 0                 | 0.0               | 0.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 岐阜大学             | 208         | 4          | 204        | 0                       | 19.2       | 0.0                     | 4                 | 19.6              | 19.2              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 九州大学             | 820         | 0          | 820        | 8                       | 0.0        | 9.8                     | 8                 | 9.8               | 9.8               | 1                       | 0                        | 1          | 11.1       |
| 京都第一赤十字病院        | 680         | 10         | 670        | 0                       | 14.7       | 0.0                     | 10                | 14.9              | 14.7              | 1                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 京都大学             | 354         | 8          | 346        | 1                       | 22.6       | 2.9                     | 9                 | 26.0              | 25.4              | 0                       | 0                        | 1          | 11.1       |
| 京都第二赤十字病院        | 579         | 2          | 577        | 1                       | 3.5        | 1.7                     | 3                 | 5.2               | 5.2               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 京都府立医科大学         | 322         | 2          | 320        | 8                       | 6.2        | 25.0                    | 10                | 31.3              | 31.1              | 1                       | 0                        | 1          | 9.1        |
| 近畿大学             | 442         | 8          | 434        | 1                       | 18.1       | 2.3                     | 9                 | 20.7              | 20.4              | 0                       | 0                        | 2          | 22.2       |
| 熊本市市民病院          | 517         | 8          | 509        | 5                       | 15.5       | 9.8                     | 13                | 25.5              | 25.1              | 2                       | 0                        | 1          | 6.7        |
| 倉敷成人病センター        | 1,593       | 4          | 1,589      | 0                       | 2.5        | 0.0                     | 4                 | 2.5               | 2.5               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 久留米大学            | 544         | 12         | 532        | 3                       | 22.1       | 5.6                     | 15                | 28.2              | 27.6              | 0                       | 0                        | 1          | 6.7        |
| 群馬大学             | 434         | 4          | 430        | 4                       | 9.2        | 9.3                     | 8                 | 18.6              | 18.4              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 慶應義塾大学           | 615         | 5          | 610        | 0                       | 8.1        | 0.0                     | 5                 | 8.2               | 8.1               | 0                       | 0                        | 2          | 40.0       |
| 高知大学             | 144         | 0          | 144        | 1                       | 0.0        | 6.9                     | 1                 | 6.9               | 6.9               | 1                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 神戸大学             | 442         | 4          | 438        | 1                       | 9.0        | 2.3                     | 5                 | 11.4              | 11.3              | 3                       | 0                        | 1          | 12.5       |
| 国立国際医療研究センター     | 548         | 3          | 545        | 0                       | 5.5        | 0.0                     | 3                 | 5.5               | 5.5               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立循環器病研究センター     | 285         | 2          | 283        | 2                       | 7.0        | 7.1                     | 4                 | 14.1              | 14.0              | 0                       | 0                        | 3          | 75.0       |
| 国立病院機構岡山医療センター   | 694         | 16         | 678        | 4                       | 23.1       | 5.9                     | 20                | 29.5              | 28.8              | 0                       | 2                        | 3          | 13.6       |
| 国立病院機構小倉医療センター   | 335         | 2          | 333        | 1                       | 6.0        | 3.0                     | 3                 | 9.0               | 9.0               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構佐賀病院       | 534         | 6          | 528        | 3                       | 11.2       | 5.7                     | 9                 | 17.0              | 16.9              | 0                       | 0                        | 1          | 11.1       |
| 国立病院機構高崎総合医療センター | 114         | 2          | 112        | 0                       | 17.5       | 0.0                     | 2                 | 17.9              | 17.5              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構東京医療センター   | 647         | 3          | 644        | 0                       | 4.6        | 0.0                     | 3                 | 4.7               | 4.6               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構栃木病院       | 203         | 2          | 201        | 0                       | 9.9        | 0.0                     | 2                 | 10.0              | 9.9               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構長崎医療センター   | 524         | 7          | 517        | 2                       | 13.4       | 3.9                     | 9                 | 17.4              | 17.2              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構西埼玉中央病院    | 987         | 7          | 980        | 0                       | 7.1        | 0.0                     | 7                 | 7.1               | 7.1               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 国立病院機構横浜医療センター   | 863         | 4          | 859        | 0                       | 4.6        | 0.0                     | 4                 | 4.7               | 4.6               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 済生会宇都宮病院         | 1,195       | 3          | 1,192      | 2                       | 2.5        | 1.7                     | 5                 | 4.2               | 4.2               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 済生会兵庫病院          | 618         | 2          | 616        | 2                       | 3.2        | 3.2                     | 4                 | 6.5               | 6.5               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 済生会横浜市東部病院       | 930         | 6          | 924        | 0                       | 6.5        | 0.0                     | 6                 | 6.5               | 6.5               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 佐賀大学             | 183         | 9          | 174        | 1                       | 49.2       | 5.7                     | 10                | 57.5              | 54.6              | 0                       | 0                        | 1          | 10.0       |
| 札幌医科大学           | 332         | 5          | 327        | 0                       | 15.1       | 0.0                     | 5                 | 15.3              | 15.1              | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 産業医科大学           | 250         | 3          | 247        | 2                       | 12.0       | 8.1                     | 5                 | 20.2              | 20.0              | 0                       | 0                        | 3          | 60.0       |
| JA 広島総合病院        | 583         | 2          | 581        | 0                       | 3.4        | 0.0                     | 2                 | 3.4               | 3.4               | 0                       | 0                        | 0          | 0.0        |
| 滋賀医科大学           | 303         | 3          | 300        | 3                       | 9.9        | 10.0                    | 6                 | 20.0              | 19.8              | 1                       | 0                        | 1          | 14.3       |
| 自治医科大学           | 1,157       | 11         | 1,146      | 9                       | 9.5        | 7.9                     | 20                | 17.5              | 17.3              | 2                       | 0                        | 2          | 9.1        |
| 島根大学             | 244         | 6          | 238        | 0                       | 24.6       | 0.0                     | 6                 | 25.2              | 24.6              | 1                       | 0                        | 0          | 0.0        |



|                    |        |     |        |     |      |      |     |      |      |    |    |     |      |
|--------------------|--------|-----|--------|-----|------|------|-----|------|------|----|----|-----|------|
| 順天堂大学浦安病院          | 849    | 6   | 843    | 8   | 7.1  | 9.5  | 14  | 16.6 | 16.5 | 0  | 0  | 1   | 7.1  |
| 昭和大学               | 1,200  | 9   | 1,191  | 2   | 7.5  | 1.7  | 11  | 9.2  | 9.2  | 0  | 0  | 1   | 9.1  |
| 信州大学               | 752    | 2   | 750    | 4   | 2.7  | 5.3  | 6   | 8.0  | 8.0  | 2  | 0  | 0   | 0.0  |
| 駿河台日本大学病院          | 10     | 0   | 10     | 0   | 0.0  | 0.0  | 0   | 0.0  | 0.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 聖マリアンナ医科大学         | 968    | 7   | 961    | 1   | 7.2  | 1.0  | 8   | 8.3  | 8.3  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 高槻病院               | 1,504  | 2   | 1,502  | 1   | 1.3  | 0.7  | 3   | 2.0  | 2.0  | 0  | 1  | 0   | 0.0  |
| 千葉大学               | 564    | 11  | 553    | 0   | 19.5 | 0.0  | 11  | 19.9 | 19.5 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 帝京大学               | 667    | 4   | 663    | 0   | 6.0  | 0.0  | 4   | 6.0  | 6.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東海大学               | 617    | 7   | 610    | 1   | 11.3 | 1.6  | 8   | 13.1 | 13.0 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京医科歯科大学           | 424    | 1   | 423    | 2   | 2.4  | 4.7  | 3   | 7.1  | 7.1  | 0  | 0  | 2   | 66.7 |
| 東京医科大学             | 580    | 8   | 572    | 0   | 13.8 | 0.0  | 8   | 14.0 | 13.8 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京医科大学八王子医療センター    | 491    | 2   | 489    | 0   | 4.1  | 0.0  | 2   | 4.1  | 4.1  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京歯科大学市川総合病院       | 518    | 1   | 517    | 0   | 1.9  | 0.0  | 1   | 1.9  | 1.9  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京慈恵会医科大学          | 927    | 5   | 922    | 4   | 5.4  | 4.3  | 9   | 9.8  | 9.7  | 1  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京慈恵会医科大学青戸病院      | 248    | 3   | 245    | 0   | 12.1 | 0.0  | 3   | 12.2 | 12.1 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京女子医科大学           | 845    | 15  | 830    | 2   | 17.8 | 2.4  | 17  | 20.5 | 20.1 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東京大学               | 925    | 11  | 914    | 3   | 11.9 | 3.3  | 14  | 15.3 | 15.1 | 0  | 0  | 1   | 7.1  |
| 東邦大学大森病院           | 881    | 0   | 881    | 1   | 0.0  | 1.1  | 1   | 1.1  | 1.1  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 東北大学               | 914    | 12  | 902    | 2   | 13.1 | 2.2  | 14  | 15.5 | 15.3 | 0  | 2  | 0   | 0.0  |
| 獨協医科大学             | 852    | 5   | 847    | 4   | 5.9  | 4.7  | 9   | 10.6 | 10.6 | 5  | 3  | 1   | 5.9  |
| 鳥取県立中央病院           | 467    | 5   | 462    | 0   | 10.7 | 0.0  | 5   | 10.8 | 10.7 | 0  | 1  | 2   | 33.3 |
| 鳥取大学               | 305    | 5   | 300    | 4   | 16.4 | 13.3 | 9   | 30.0 | 29.5 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 砺波総合病院             | 492    | 2   | 490    | 0   | 4.1  | 0.0  | 2   | 4.1  | 4.1  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 富山大学               | 259    | 3   | 256    | 2   | 11.6 | 7.8  | 5   | 19.5 | 19.3 | 0  | 0  | 1   | 20.0 |
| 豊島病院               | 186    | 0   | 186    | 0   | 0.0  | 0.0  | 0   | 0.0  | 0.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 長崎市立市民病院           | 256    | 1   | 255    | 2   | 3.9  | 7.8  | 3   | 11.8 | 11.7 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 長崎大学               | 284    | 4   | 280    | 2   | 14.1 | 7.1  | 6   | 21.4 | 21.1 | 1  | 0  | 1   | 14.3 |
| 名古屋大学              | 374    | 8   | 366    | 1   | 21.4 | 2.7  | 9   | 24.6 | 24.1 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 名古屋第二赤十字病院         | 971    | 4   | 967    | 2   | 4.1  | 2.1  | 6   | 6.2  | 6.2  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 奈良県立医科大学           | 856    | 15  | 841    | 7   | 17.5 | 8.3  | 22  | 26.2 | 25.7 | 3  | 0  | 1   | 4.0  |
| 新潟大学               | 333    | 2   | 331    | 6   | 6.0  | 18.1 | 8   | 24.2 | 24.0 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 日本医科大学             | 443    | 1   | 442    | 0   | 2.3  | 0.0  | 1   | 2.3  | 2.3  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 日本医科大学多摩永山病院       | 856    | 6   | 850    | 0   | 7.0  | 0.0  | 6   | 7.1  | 7.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 日本医科大学武蔵小杉病院       | 836    | 8   | 828    | 0   | 9.6  | 0.0  | 8   | 9.7  | 9.6  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 日本大学               | 841    | 12  | 829    | 3   | 14.3 | 3.6  | 15  | 18.1 | 17.8 | 1  | 1  | 0   | 0.0  |
| 日本パプテスト病院          | 433    | 1   | 432    | 3   | 2.3  | 6.9  | 4   | 9.3  | 9.2  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 函館中央病院             | 727    | 4   | 723    | 1   | 5.5  | 1.4  | 5   | 6.9  | 6.9  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 浜松医科大学             | 457    | 2   | 455    | 1   | 4.4  | 2.2  | 3   | 6.6  | 6.6  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 姫路赤十字病院            | 502    | 2   | 500    | 0   | 4.0  | 0.0  | 2   | 4.0  | 4.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 兵庫医科大学             | 341    | 1   | 340    | 0   | 2.9  | 0.0  | 1   | 2.9  | 2.9  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 兵庫県立こども病院          | 465    | 7   | 458    | 6   | 15.1 | 13.1 | 13  | 28.4 | 28.0 | 4  | 0  | 4   | 23.5 |
| 弘前大学               | 296    | 3   | 293    | 3   | 10.1 | 10.2 | 6   | 20.5 | 20.3 | 0  | 0  | 1   | 16.7 |
| 広島市民病院             | 1,026  | 7   | 1,019  | 6   | 6.8  | 5.9  | 13  | 12.8 | 12.7 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 広島大学               | 367    | 12  | 355    | 1   | 32.7 | 2.8  | 13  | 36.6 | 35.4 | 0  | 0  | 1   | 7.7  |
| 福井大学               | 112    | 2   | 110    | 1   | 17.9 | 9.1  | 3   | 27.3 | 26.8 | 0  | 0  | 2   | 66.7 |
| 福岡赤十字病院            | 535    | 2   | 533    | 0   | 3.7  | 0.0  | 2   | 3.8  | 3.7  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 福岡大学               | 495    | 5   | 490    | 3   | 10.1 | 6.1  | 8   | 16.3 | 16.2 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 福岡県立医科大学           | 464    | 8   | 456    | 1   | 17.2 | 2.2  | 9   | 19.7 | 19.4 | 0  | 1  | 1   | 10.0 |
| 福岡山市民病院            | 486    | 1   | 485    | 0   | 2.1  | 0.0  | 1   | 2.1  | 2.1  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 藤田保健衛生大学           | 522    | 3   | 519    | 0   | 5.7  | 0.0  | 3   | 5.8  | 5.7  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 防衛医科大学             | 598    | 3   | 595    | 1   | 5.0  | 1.7  | 4   | 6.7  | 6.7  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 芳賀赤十字病院            | 352    | 4   | 348    | 0   | 11.4 | 0.0  | 4   | 11.5 | 11.4 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 北海道大学              | 297    | 3   | 294    | 4   | 10.1 | 13.6 | 7   | 23.8 | 23.6 | 0  | 0  | 1   | 14.3 |
| 三重大学               | 331    | 8   | 323    | 2   | 24.2 | 6.2  | 10  | 31.0 | 30.2 | 0  | 0  | 2   | 20.0 |
| 宮崎県立宮崎病院           | 371    | 1   | 370    | 0   | 2.7  | 0.0  | 1   | 2.7  | 2.7  | 1  | 0  | 0   | 0.0  |
| 宮崎大学               | 319    | 5   | 314    | 0   | 15.7 | 0.0  | 5   | 15.9 | 15.7 | 1  | 0  | 2   | 33.3 |
| 山形大学               | 166    | 4   | 162    | 0   | 24.1 | 0.0  | 4   | 24.7 | 24.1 | 0  | 0  | 1   | 25.0 |
| 山口赤十字病院            | 380    | 1   | 379    | 0   | 2.6  | 0.0  | 1   | 2.6  | 2.6  | 1  | 0  | 0   | 0.0  |
| 山田赤十字病院            | 370    | 0   | 370    | 0   | 0.0  | 0.0  | 0   | 0.0  | 0.0  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 山梨大学               | 548    | 1   | 547    | 1   | 1.8  | 1.8  | 2   | 3.7  | 3.6  | 0  | 0  | 1   | 50.0 |
| 横浜国立大学附属市民総合医療センター | 1,086  | 15  | 1,071  | 6   | 13.8 | 5.6  | 21  | 19.6 | 19.3 | 2  | 0  | 1   | 4.3  |
| 横浜南共済病院            | 1,082  | 2   | 1,080  | 0   | 1.8  | 0.0  | 2   | 1.9  | 1.8  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 横浜労災病院             | 719    | 1   | 718    | 0   | 1.4  | 0.0  | 1   | 1.4  | 1.4  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 淀川キリスト教病院          | 1,099  | 3   | 1,096  | 1   | 2.7  | 0.9  | 4   | 3.6  | 3.6  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 琉球大学               | 279    | 1   | 278    | 2   | 3.6  | 7.2  | 3   | 10.8 | 10.8 | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 和歌山県立医科大学          | 624    | 7   | 617    | 3   | 11.2 | 4.9  | 10  | 16.2 | 16.0 | 0  | 0  | 1   | 10.0 |
| 和歌山労災病院            | 383    | 1   | 382    | 1   | 2.6  | 2.6  | 2   | 5.2  | 5.2  | 0  | 0  | 0   | 0.0  |
| 全施設                | 76,113 | 682 | 75,431 | 269 | 9.0  | 3.6  | 951 | 12.6 | 12.5 | 45 | 20 | 100 | 9.8  |

\* : 明らかな誤入力および不良データを除いた採用データを出産数とし、他の統計値もこの母集団を基に算出した。

を伴う不育症」として進めていく。ヘパリンカルシウムの自己投与に関しては現在まとめている論文を公表(日本産婦人科・新生児血液学会誌 in press)してから再度進める。

(2) 低分子ヘパリン(エノキサパリン)の妊婦への適応拡大

(3) 妊娠高血圧症候群にたいするカルシウムブロッカー、 $\alpha\beta$  ブロッカーの使用(妊婦禁忌条項をはずす)

・産科ガイドラインに推奨され厚労省でも進展があった。本年3月に医薬品医療機器総合機構からヒアリングをうける。妊娠高血圧学会のガイドラインにも記載するよう働きかける。

(4) フィブリノゲン

・ドイツ、アメリカは保険収載済み。CSL ベーリングが液状加熱製剤を日本に導入予定。それを機会に公知申請を狙う。また、現時点では倫理委員会をとおり、同意書を取り、地方厚生局に保険外併用療養費申請すれば私費で患者に請求できる。

(5) 遺伝子組み換え活性型Ⅷ因子製剤

・現在25症例をまとめて論文作成中。今後、①子宮摘出後、②TAE 後、③B-Lynch など止血手術、これらの処置にても止血できない大量出血に適応申請する。

・日本産婦人科新生児血液学会での遺伝子組み換え活性型Ⅷ因子製剤使用症例の集積が31例となり28例止血し救命できた。厚労省が積極的に動き出しそうである。

(6) ウリナスタチンの使用調査について

・現在、集計中。

(7) その他

\*妊婦への静注製剤の抗インフルエンザ新薬(ラピアクタ)の適用について働きかける。妊婦の重症インフルエンザ(呼吸不全時経口投与できない症例)での使用がスムーズにいくようにする。

\*抗サイトメガロウイルス免疫グロブリン(先天性および周産期サイトメガロウイルス感染症)まず、小児科で保険収載後、検討する。

\*産科出血に対する動脈塞栓術に使用するジェルパート、ゼラチンスポンジゲル  
IVR 学会、放射線学会と連携して進める。

\*AT-Ⅲ製剤の妊娠高血圧症候群重症型に対する適応拡大

後天性 AT 低下症で保険通るが、活性値70%以下に

はなかなかならない。引き続き進める。

### 3. 胎児機能不全診断基準とその妥当性の検討委員会

池田智明<sup>1)</sup>、岡井 崇<sup>2)</sup>、上妻志郎<sup>2)</sup>、  
鮫島 浩<sup>2)</sup>、千坂 泰<sup>2)</sup>、松岡 隆<sup>2)</sup>、  
米田 哲<sup>2)</sup>

[<sup>1)</sup>委員長, <sup>2)</sup>委員]

2008年に「胎児心拍数波形の分類に基づく分娩時胎児管理の指針」を提案したが、2009年に改定、さらに2010年に提案として発刊した。委員会提案—胎児心拍数波形の分類に基づく分娩時胎児管理の指針(2010年版)—、日産婦誌62巻10号2068~2073, 2010。また、本提案がインターナショナルに通用するために、英文を機関紙に掲載した。(Intrapartum management guidelines based on fetal heart rate pattern classification. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 36, 925~928, 2010)。

妥当性の検証として、①判読の再現性と一致性、②本指針で管理したが、予後が不良であった症例の蓄積をめざした。①に関しては、小委員会委員を中心とした7名の専門家が10分間区画に切った188のCTGを判読した。症例は分娩時臍帯動脈血 pH が7.15未満の14症例であり、分娩前3時間以内のCTGを使った。その結果、4名以上の一致率は74%、少なくとも2名以上の一致率は88%、重み付けカッパ値は0.64と、CTG判読の一致率の各指標は高かった。判読者がCTGの専門家であったことから一致率が高かった可能性もあり、今後、本提案の全国的普及後に、再度、一致率を検討する必要があると考えられた。

#### 小委員会

##### 1. 早産のリスク因子の解明と具体的な予防法確立に関する小委員会

齋藤 滋<sup>1)</sup>、伊東宏晃<sup>2)</sup>、大槻克文<sup>2)</sup>、  
金山尚裕<sup>2)</sup>、塩崎有宏<sup>2)</sup>、竹田 省<sup>2)</sup>、  
秦 利之<sup>2)</sup>、増崎英明<sup>2)</sup>

[<sup>1)</sup>委員長, <sup>2)</sup>委員]

妊娠中期(18~24週頃)に行う経陰超音波法による頸管長測定は、早産を予知するマーカーとして広く用いられているが、その測定方法はまちまちで一定化されていない。本委員会では、まず子宮頸管長測定の方法を提唱し、これに基づく日本人のデータを集積することとした。

##### 1. 周産期委員会が提唱する頸管長測定の方法

## 経腔超音波による頸管長計測の方法

以下の手順に従って、頸管長を測定する。(図 1)

- (1) 排尿後に頸管長を測定する。<sup>注1</sup>
- (2) プローブを前腔円蓋に挿入し、左右に動かし、頸部の中央を描出する。<sup>注2</sup>
- (3) 内子宮口を同定する。<sup>注3,4</sup>
- (4) 頸管部の描写が可能なかぎりプローブを引き戻す。<sup>注5</sup>
- (5) Pressure test を施行する。<sup>注6</sup>
- (6) Pressure test を通じて最も短く描出された頸管長を計測する。<sup>注7</sup>
- (7) 計測部位は以下とする。<sup>注8,9</sup>
  - 1) 組織学的内子宮口が閉鎖している場合：組織学的内子宮口から外子宮口までの距離(子宮下部は含めない)
  - 2) 組織学的内子宮口が開大している場合：羊水腔の下端(functional internal os)から外子宮口までの距離
  - 3) 計測は曲線のトレース、または 2 直線の合計とする。(写真 1~3)

## 手順(1)~(7)に関する注意事項

注 1：子宮下部と頸部は周辺組織の圧迫により容易に形状が変化するため、膀胱が充満していると、上方からの圧迫により子宮下部の前後壁が密着しやすく、また本来開大している組織学的内子宮口が閉鎖して描写される可能性がある。

注 2：プローブはできるだけ前腔円蓋に挿入するよう努めるが、頸部の向き等により不能なときはこのかぎりではない。頸部中央の縦断像が描出できなければ、頸管腺および頸管の同定ができず、頸管短縮を見落とす可能性がある。頸管の全長を正しく描出することが重要である。

注 3：頸管腺組織は、頸部中央の縦断像で周囲の組織と比較して hypoechoic(まれに hyperechoic)に描写される細長い紡錘形または帯状の部分として同定する。その組織の中央の線上の無エコー部分が頸管である。頸管腺組織の子宮体部側の端の中央を子宮頸管長計測時の内子宮口とする。頸管短縮例では頸管腺組織が不明瞭なこともあるが、funneling の形状から見当をつけることができる。

注 4：外子宮口は頸管の最下端部(尾側)とする。通常そのさらに下方(尾側)には腔後壁が hyperechoic な曲線として描出される。

注 5：プローブを腔内に深く挿入し頸部を押すと、プローブ自体の圧迫により注 1 の状態が生じるので、プローブを引き戻す操作が必要となる。

注 6：検者が用手的に子宮底を下方(尾側)に圧迫する(transfundal pressure)か、または恥骨上部を後方(背側)に圧迫する(suprapubic pressure)手技で圧力をかけ、頸管の動的変化(dynamic change)を人工的に作製する。圧迫は 20~30 秒行う。

注 7：Dynamic change で短くなった頸管を計測することで早産に対する予知精度が向上すると報告されている<sup>7)</sup>。Pressure test でも同様である<sup>7)</sup>。

注 8：閉じている頸管部分の長さが重要との考え<sup>7)</sup>に基づく。

注 9：頸管は曲線状の患者が多く、一直線に計測すると誤差が大きくなる。頸管が著しく短縮している場合は一直線に計測してもよい。

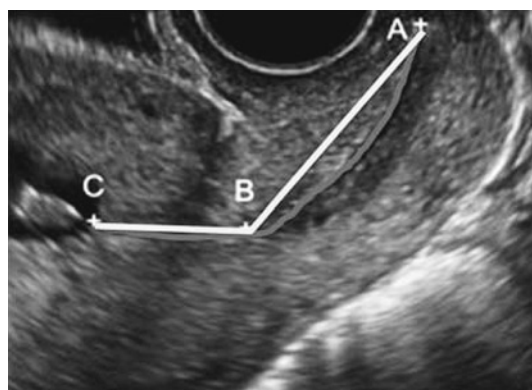


写真 1 問違った子宮頸管長計測方法

正しいのは外子宮口(A)から組織学的内子宮口(B)までの長さを計測することである。C(羊水、下腔)までは含めない。

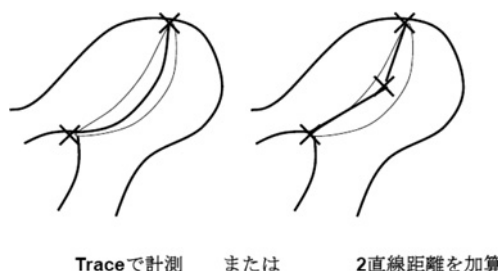


図 1 子宮頸管長計測方法

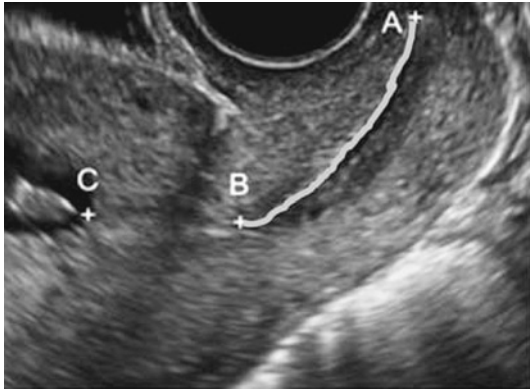


写真2 正しい子宮頸管長計測方法(トレース法)

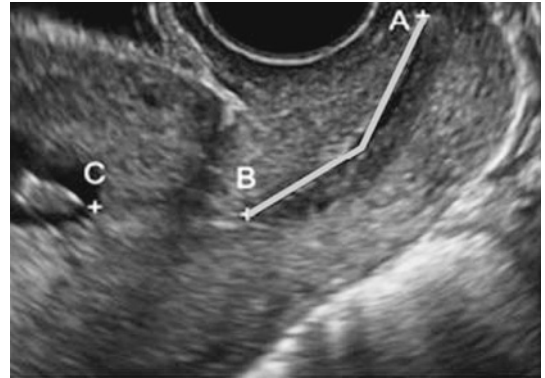


写真3 正しい子宮頸管長計測方法(2点法)

## 2. トレース法および2点法による頸管長の測定とそれらの分布

周産期委員会小委員会の委員の所属する6大学において、妊娠初期から妊婦健診している(母体搬送例を除く)計600名の妊婦を対象として、妊娠18~24週におけ

る頸管長の計測を行ったところ、図2のような分布を示した。

600名の妊婦における平均の頸管長はトレース法で39.3mm, 2点法で40.7mmであった。また5パーセントイルは24mm, 10パーセントタイルは30mmであった。

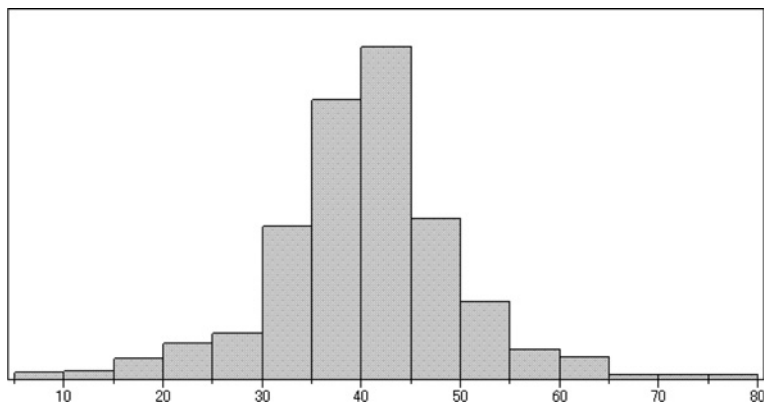


図2 妊娠18から24週における頸管長の分布

## 3. 妊娠18~24週の頸管長と自然早産オッズ比

妊娠18~24週の頸管長が25mm未満である場合、妊娠37週未満の自然早産となるオッズ比は7.42(95%CI: 2.46~22.38)であった。同様に30mm未満、35mm未満である場合、妊娠37週未満の自然早産のオッズ比はそれぞれ6.90(95%CI: 2.95~16.15), 4.84(95%CI: 2.24~10.45)であった。

長はトレース法であっても2点法であっても、平均約40mmであり、頸管長が30mm未満である場合には、約5倍37週未満の自然早産となりやすいことが判明した。

また頸管長の分布が7mmから76.3mmと幅広く、特に頸管長50mm以上の症例が71症例(11.8%)も存在することから、今後頸管長測定の際のさらなる厳格さが求められると思われる。

## まとめ

今回の計600例の解析結果から、妊娠18~24週の頸管

## 2. 周産期救急医療体制の構築とその対応に関する小委員会

池田智明<sup>2)</sup>, 海野信也<sup>1)</sup>, 岡井 崇<sup>2)</sup>,  
川端正清<sup>2)</sup>, 久保隆彦<sup>2)</sup>, 小林隆夫<sup>2)</sup>,  
中林正雄<sup>2)</sup>  
[<sup>1)</sup>委員長, <sup>2)</sup>委員]

### 1. 「母体救命救急症例の実態に関する調査」の実施

(ア) 東京都周産期医療協議会, 大阪府産婦人科診療相互援助システム, 神奈川県産科婦人科医会に協力を要請し, 母体救命救急症例の実態調査を実施した。

(イ) 調査の結果, 以下の点が明らかになった。(調査結果は詳細を別に報告する予定)

(ウ) 母体救急の解析

①出血性ショック, 早剥を含めた産科 DIC, 羊水塞栓などを原因とする大量出血を伴う母体救急症例が約半数(52%)を占める。

②PIH を基盤とする子癇, HELLP 症候群等が約1/4(23%)を占める

(エ) 母体死亡症例の解析

①母体死亡は東京都と神奈川県で17件ありほぼ日本平均と同じであった。

②妊娠婦死亡実数は, 出血, 脳血管障害, 羊水塞栓症の順だった。

③発症母体救急数を分母とした死亡率は, 羊水塞栓症, 重症感染症, 外傷・自殺・事故, 脳血管障害, 肺梗塞などの呼吸不全の順に高率であった。

④死亡実数の多かった大量出血は発症数は多いが, 死亡率は低率であった。

(オ) 胎児・新生児予後の解析

①母体救急での児死亡(胎内死亡, 死産, 新生児死亡, 乳児死亡)は15%と非常に高率であった。

②児死亡の原因として多かったのは, 早剥を含む DIC, 出血性ショック, 子癇を含む PIH, 外傷・自殺・事故の順だった。

③発症母体救急数を分母とした死亡率では, 早剥を含む DIC:56%, 外傷・自殺・事故:43%, 重症感染症:33%, 羊水塞栓症:14%, 子癇を含む PIH:5%, 脳血管障害:4%, 出血性ショック:4%という順で高率であった。

(カ) 今後の課題

①母体死亡症例の搬送についての詳細な分析: 時間, 発生場所, 死亡を回避できたか等についての検討が必要。

②児死亡の詳細な分析: 児死亡を回避するための対策, 搬送システムの変更も含めて検討する必要がある。

(キ) 今回の調査及び分析結果に基づく母体救急搬送システムの再検討: 特に母体救急の搬送の約半数を占める大量出血の対策, 妊娠婦死亡率の高い羊水塞栓への新しい治療戦略の確立, 死亡実数の多い脳血管障害への対応を含む新しい妊婦健診体制の開発, 児予後が不良な常位胎盤早期剥離への対策等が必要である。

### 2. 「日本産婦人科医会 妊娠婦死亡届出事業」への協力

(ア) 平成22年2月に本委員会より提出した理事長宛要望書に基づき, 協力体制を構築した。

(イ) 日本産婦人科医会に届けられた症例は, ほぼ月例で開催される国立循環器病研究センターの「妊娠婦死亡の調査と分析センターとしての基盤研究」症例検討評価委員会で検討が行われた。この委員会に本小委員会委員が参加し, 妊娠婦死亡症例の評価検討に参加した。

(ウ) 検討結果は提言「母体安全への提言2010」として本年度中に公表される予定になっている。

### 3. 新しい妊婦健診体制に関する小委員会

上妻志郎<sup>2)</sup>, 佐藤昌司<sup>2)</sup>, 鮫島 浩<sup>2)</sup>,  
千坂 泰<sup>2)</sup>, 中井章人<sup>2)</sup>, 平松祐司<sup>2)</sup>,  
水上尚典<sup>2)</sup>, 松原茂樹<sup>2)</sup>, 松田義雄<sup>1)</sup>  
[<sup>1)</sup>委員長, <sup>2)</sup>委員]

産婦人科一次施設における妊婦健診体制の現状と問題点: アンケート解析結果から(第二報)

終戦後から約半世紀をかけて, 我が国の母子保健は世界のトップクラスにかけ上ってきた。しかしながら, ここにきて, 産科医療を取り巻く環境の劣悪化により, 地域によってはこれまでのような産科医療提供体制の確保が難しくなってきたり, 大きな社会問題となっている。体制の再構築は急務の課題であるが, 一朝一夕で解決できるものではない。そのため, 少なくとも今の母子保健レベルを低下させないために, 何をすべきなのかが問われている。

日本産科婦人科学会周産期委員会では, 現状と問題

点を明らかにすべく、全国の一次診療施設にアンケート調査を行った。

1,668施設にアンケート調査の依頼を行ったところ、平成21年、22年に回答が寄せられた施設はそれぞれ727施設、805施設で、回答率は43.6%、48.3%であった。2年続けて回答が寄せられた施設は526施設であった。

調査内容としては、自施設で行われている健診内容と、日本産婦人科診療ガイドライン産科編2008に記載されている項目を中心とした診療内容の実態調査である。

初年度の結果に施設の規模、医師数や地域を加味した層別解析を加えた。さらに、2年続けて報告があった526施設の結果から、各項目がどのように変化したのか検証を行った。また最終年度は、医師の負担度の調査も加えた。

I. 層別解析：各質問項目に対して、地域別の比較を追加した。

#### A. 調査対象の背景(平成21年、都道府県別)

##### ☆回答施設(727施設)のエリア分布

|       |                |
|-------|----------------|
| 北海道   | ： 18施設(2.5%)   |
| 東北    | ： 54施設(7.4%)   |
| 関東    | ： 170施設(23.4%) |
| 中部    | ： 141施設(19.4%) |
| 近畿    | ： 109施設(15.0%) |
| 中国・四国 | ： 80施設(11.0%)  |
| 九州・沖縄 | ： 155施設(21.3%) |

##### 1. 年間取り扱い分娩数(H20年時点)

\*有効回答699施設(96.1%)

|          |                |
|----------|----------------|
| 0～299人   | ： 305施設(42.0%) |
| 300～599人 | ： 292施設(40.2%) |
| 600人以上   | ： 102施設(14.0%) |

##### 2. 医師数(H20年時点) \*有効回答727施設(100.0%)

|      |                |
|------|----------------|
| 1人   | ： 414施設(56.9%) |
| 2人   | ： 201施設(27.6%) |
| 3人以上 | ： 112施設(15.4%) |

#### B. 健診体制の実態(平成21年、都道府県別)

##### Q1. ハイリスク症例を選別していますか？

はい：611施設(84.0%)

●(はい)の場合、「妊娠リスクの自己評価」を利用していますか？

はい：211施設(34.5%)

##### Q2. ハイリスク症例の照会先はおおよそ決まっていますか？

はい：631施設(86.8%)

●(いいえ)の場合、どのような対象症例があった際、照会しますか？ \*複数回答 \*有効回答108件

症例に応じて：75施設(86.2%)

妊婦の希望：33施設(37.9%)

##### Q3. 妊婦健診は主にどなたがしていますか？

\*複数回答 \*有効回答725件

医師：637施設(87.6%)

医師と助産師：74施設(10.2%)

医師と看護師：14施設(1.9%)

##### Q4. 一人当たりの健診時間はどれくらいですか？

\*有効回答721施設(99.2%)

～15分：572施設(78.7%)

15～30分：143施設(19.7%)

30分以上：6施設(0.8%)

##### Q5. 母子手帳への記載はどなたですか？

\*複数回答 \*有効回答1,106件

医師：497施設(68.4%)

助産師：270施設(37.1%)

看護師：339施設(46.6%)

##### Q6. 医師以外が超音波検査をしていますか？

はい：115施設(15.8%)

●(はい)の場合、対象症例は？

\*有効回答91施設(79.1%)

ローリスクだけ：43施設(37.4%)

対象を限定せず：48施設(41.7%)

##### Q7. 助産師外来をしていますか？

はい：144施設(19.8%)

●(はい)の場合、いつしていますか？

\*有効回答116施設(80.5%)

毎回：34施設(23.6%)

特定の妊娠週数：82施設(56.9%)

●(はい)の場合、対象症例は？

\*有効回答122施設(84.8%)

ローリスクだけ：45施設(31.3%)

対象を限定せず：77施設(53.5%)

●(はい)の場合、具体的内容は？

\*複数回答 \*有効回答324件

健診だけ：31施設(21.5%)

日常生活(保健)指導：137施設(95.1%)

超音波検査：39施設(27.1%)

食事指導：117施設(81.3%)

●(いいえ)の場合、今後導入する予定はありますか？

はい：91施設(17.2%)

## &lt;小括1&gt;

- (1) ハイリスク症例の選別は8割以上の施設で行われており、その内34.5%が中林・久保による「妊娠リスクの自己評価」が利用されていた。
- (2) 妊婦一人当たりの健診時間は15分以内が78.7%, 母子健康手帳の記載を医師が行っているのが68.4%に上った。
- (3) 医師以外が超音波検査をしている施設は15%程度に留まっていた。
- (4) 助産師外来は2割に足らず、今後導入予定を考えている施設も2割に満たなかった。
- (5) これらの数値は地域別に見てもほぼ同様の傾向であった。

## C. 医師による健診内容の実態(平成21年, 都道府県別)

Q8. 12週頃までにCRL計測を行っていますか?

はい: 627施設(86.2%)

Q9. 20~24週までに頸管長計測を行っていますか?

はい: 449施設(61.8%)

Q10. 妊娠初期の随時血糖

はい: 519施設(71.4%)

Q11. 24~28週に糖尿病スクリーニングを実施していますか?

はい: 358施設(49.2%)

Q12. 32週までに前置胎盤の確認を行っていますか?

はい: 627施設(86.2%)

Q13. 35~37週にGBS検査を実施していますか?

はい: 594施設(81.7%)

Q14. 胎児心拍数モニタリング(施行開始時期)

●36週以降毎回実施していますか?

はい: 166施設(22.8%)

●37週以降毎回実施していますか?

はい: 154施設(21.2%)

●対象は全員ですか?

はい: 541施設(74.4%)

●対象は選別していますか?

はい: 79施設(10.9%)

Q15. 超音波検査は, ほぼ毎回行っていますか?

はい: 642施設(88.3%)

●(はい)の場合, 毎回, 何を見えていますか?

・BPD だけ

はい: 103施設(16.0%)

・BPD と FL だけ

はい: 111施設(17.3%)

・推定体重も

はい: 615施設(95.8%)

・羊水量

はい: 587施設(91.4%)

・胎盤位置

はい: 588施設(91.6%)

・頸管長

はい: 254施設(39.6%)

・奇形の有無

はい: 558施設(86.9%)

●毎回は見えていない場合, 奇形のチェックはしますか?

はい: 56施設(65.9%)

●超音波検査は, 週数を決めて見えていますか?

はい: 28施設(3.9%)

Q16. 胎動表(カウント)を渡していますか?

はい: 155施設(21.3%)

●渡さないけれど, 健診時に胎動を尋ねていますか?

はい: 441施設(77.1%)

●母親教室などで指導していますか?

はい: 414施設(56.9%)

●(はい)の場合, 対象症例は?

全員 : 353施設(85.3%)

症例を選んで: 42施設(10.1%)

## &lt;小括2&gt;

- (1) ガイドラインに記載されている6項目の施行頻度をみえてみると, 8割をこえているのが, 「12週頃までのCRL計測」, 「32週までの前置胎盤の確認」と「35~37週のGBS検査」であり, 頸管長測定は6割程度で24~28週の糖尿病スクリーニングに至っては5割以下であった。
- (2) 妊娠37週以降に毎回胎児心拍モニタリングを施行している施設は, 有効回答が得られた中で半数未満であった。超音波検査は88.3%に施行され, 95.8%が推定体重まで測定していた。
- (3) 頸管長測定, 妊娠初期の随時血糖, 糖尿病スクリーニングの施行頻度に地域差がみられた。

## II. 2年間における経年的な変化(左:平成21年, 右:平成22年)

## A. 健診体制

Q1. ハイリスク症例を選別していますか?

(89.0%, 91.1%)



●(はい)の場合、「妊娠リスクの自己評価」を利用していますか？

はい(39.6%, 40.5%)

Q2. ハイリスク症例の照会先はおおよそ決まっていますか？

はい(87.6%, 88.0%)

●(いいえ)の場合、どのような対象症例があった際、照会しますか？

症例に応じて (84.6%, 85.5%)

妊婦の希望により(38.5%, 32.2%)

Q3. 妊婦健診は主にどなたがしていますか？

主に医師 (87.5%, 87.1%)

主に医師と助産師(10.3%, 11.0%)

主に医師と看護師(2.7%, 4.2%)

Q4. 一人当たりの健診時間はどれくらいですか？

～15分ぐらい (79.5%, 80.4%)

15～30分ぐらい(17.9%, 17.7%)

30分以上 (1.1%, 1.9%)

Q5. 母子手帳への記載はどなたですか？

医師 (67.1%, 65.0%)

助産師(35.7%, 34.2%)

看護師(45.4%, 48.9%)

Q6. 医師以外が超音波検査をしていますか？

はい(15.7%, 16.5%)

●(はい)の場合、対象症例は？

\*有効回答93施設(78.1%)

ローリスクのみ (48.5%, 37.3%)

対象は限定しない(51.5%, 62.7%)

Q7. 助産師外来をしていますか？

はい(22.0%, 22.6%)

●(はい)の場合、いつしていますか？

毎回実施 (31.0%, 36.0%)

特定の週数(69.0%, 64.0%)

●(はい)の場合、対象症例は？

ローリスクのみ (38.9%, 37.2%)

対象は限定しない(61.1%, 61.7%)

●(はい)の場合、具体的内容は？

健診だけ (22.6%, 36.9%)

生活(保健)指導(95.3%, 97.3%)

超音波検査 (25.5%, 31.5%)

食事指導 (83.0%, 79.3%)

●(いいえ)の場合、今後導入する予定はありますか？

はい(18.1%, 18.2%)

<小括1>

(1) ハイリスク症例の紹介先で妊婦の希望による施設紹介がやや減少し、医師以外による超音波検査の対象がローリスクのみに限定しない傾向となった。他の大部分の項目について大きな変化は認められなかった。

B. 医師による健診内容の実態

Q8. 12週頃までにCRL計測を行っていますか？

はい(87.3%, 93.2%)

Q9. 20～24週までに頸管長計測を行っていますか？

はい(61.4%, 65.0%)

Q10. 妊娠初期の随時血糖をおこなっていますか？

はい(73.4%, 81.2%)

Q11. 24～28週に糖尿病スクリーニングを実施していますか？

はい(50.8%, 58.9%)

Q12. 32週までに前置胎盤の確認を行っていますか？

はい(87.5%, 93.3%)

Q13. 35～37週にGBS検査を実施していますか？

はい(82.7%, 88.4%)

Q14. 胎児心拍数モニタリング(施行開始時期)

●36週以降毎回実施していますか？

はい(42.1%, 41.8%)

●37週以降毎回実施していますか？

はい(40.5%, 26.6%)

●特定の週数のみ実施している場合、いつ実施していますか？

37週(21.1%, 20.7%)

38週(12.9%, 13.5%)

39週(17.3%, 18.8%)

40週(42.6%, 45.8%)

41週(39.7%, 43.0%)

42週(26.8%, 29.7%)

●対象は全員ですか？

はい(90.2%, 91.7%)

●対象は選別していますか？

はい(34.1%, 45.3%)

Q15. 超音波検査は、ほぼ毎回行っていますか？

はい(96.7%, 96.1%)

●(はい)の場合、毎回、何を見えていますか？

・BPD だけ (14.5%, 17.0%)

・BPD と FL だけ(15.0%, 19.0%)

・推定体重も (94.4%, 94.1%)

・羊水量 (91.9%, 91.7%)



- ・胎盤位置 (90.8%, 90.7%)
- ・頸管長 (37.0%, 39.6%)
- ・奇形の有無 (85.5%, 86.5%)

Q16. 胎動表(カウント)を渡していますか？

はい(19.8%, 20.5%)

●渡さないけれど、健診時に胎動を尋ねていますか？

はい(77.5%, 82.3%)

●母親教室などで指導していますか？

はい(56.5%, 63.1%)

<小括2>

- (1) 産婦人科診療ガイドラインに記載されている6項目の施行頻度は全ての項目について増加した。
- (2) 超音波検査を毎回施行し、推定体重まで算出している実態に変化はなかった
- (3) 胎動に関して指導する施設は増加した。

Ⅲ. 医師の負担度の調査：平成22年度の805施設からの回答である

A. 妊婦健診 \*有効回答754施設(93.7%)

大いに感じる : 32施設(4.2%)

少し感じる : 196施設(26.0%)

あまり感じない : 331施設(43.9%)

全く感じない : 195施設(25.9%)

B. 超音波検査 \*有効回答750施設(93.2%)

大いに感じる : 30施設(4.0%)

少し感じる : 163施設(21.7%)

あまり感じない : 321施設(42.8%)

全く感じない : 236施設(31.5%)

<小括>

- (1) 妊婦健診については30.2%，超音波検査については25.7%が負担を感じていた。

考察

歴史的に振り返っても、妊婦健診が我が国の母子保健の向上に大きく寄与したことは疑うべくもない。特定な病気かどうかを診断する「検診」と違って、「健診」は総合的な健康診断であり、その意味するものが mental care, social care を含む social care とすれば、現在、母体・胎児検診が中心となっている現状は再考する必要がある。つまり、「検査」に追われて妊婦側と十分なコミュニケーションがとれないことにつながっていないだろうか？

わが国の産科一次施設における妊婦健診体制の実態

を、アンケート調査の結果から明らかにした。アンケートの回答率は半数に満たなかったが、それでも800弱の施設からの回答は、現状分析に十分足るものであった。

調査内容は、自施設で行われている健診内容と、日産婦ガイドラインに記載されている項目を中心とした診療内容の実態調査である。2年間のまとめとして、前年度の全体的な報告に加え、各質問内容の層別解析、2年間での経年的な変化に、医師自身が感じる負担度の調査を行った。

結果を要約すると、ほとんどの医師がエコー検査を含めた健診を毎回行っていて、助産師外来の導入は10数%に留まっている実態が明らかになった。このような傾向は、医師数、施設の規模や地域によっても差はみられなかった。診療の現場で実際に医師が負担を感じているかどうかを確認するために、「負担度」に関する追加調査をしたところ、妊婦健診については30.2%，超音波検査については25.7%が負担を感じているとの回答が寄せられ、1/4強の割合で負担を感じることが明らかにされた。

このような医療環境を改善するために、助産外来の導入が検討されてしかるべき時期に来ていると思われるが、現状では実施、導入予定いずれも20%前後と決して多くない。産科医師側からは、健診を任せることに対する不安がある一方で、助産師側にも「助産外来」の意義が十分伝わっていないように思われる。今後、「助産外来」の概念が正しく伝わっていくことが望まれる。

さらに、産科医師による診療内容の実態を、2008年に刊行された日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会による「産科診療ガイドライン」に記載されている6項目の施行頻度を検討したが、十分浸透していない項目も少なからずみられた。但し、前年度に比べていずれの項目の試行頻度も増加しており、今後とも増えていく可能性がある。全ての項目で100%になるよう、学会、医会が協力して、広報活動を進めていくことが強く求められる。ガイドラインを効率よく使用することにより、施設間で診療の均一化が図られるだけでなく、簡略化も期待される。つまり、エビデンスの裏付けがない「なんとなくやっている」という項目を減らすことで、診療内容の質的変換を図ることが可能と思われる。

結論

日本産科婦人科学会周産期委員会で、妊婦健診体制の現状と問題点を明らかにすべく、全国の一次診療施設

設1,668施設にアンケート調査の依頼を行った。

健診内容は地域別で大きな差はみられなかった；ハイリスク症例の選別は8割以上の施設で行われており、その内34.5%が中林・久保による「妊娠リスクの自己評価」が利用されていた。妊婦一人当たりの健診時間は15分以内が78.7%、母子健康手帳の記載を医師が行っているのが68.4%に上った。医師以外が超音波検査をしている施設は15%程度に留まっている。助産師外来は2割に足らず、今後導入予定を考えている施設も2割に満たなかった。

ガイドラインに記載されている6項目の施行頻度をみると、8割をこえているのが、「12週頃までのCRL計測」、「32週までの前置胎盤の確認」と「35～37週のGBS検査」であり、頸管長測定は6割程度で24～28週の糖尿病スクリーニングに至っては5割以下であった。頸管長測定、妊娠初期の随時血糖、糖尿病スクリーニングの施行頻度に地域差がみられた。超音波検査施行率は88.3%で、95.8%が推定体重まで測定していた。

二年間の変化をみてみると、健診内容に大きな変化はみられず、産婦人科診療ガイドラインに記載されている6項目の施行頻度は全ての項目について増加した。超音波検査を毎回施行し、推定体重まで算出している実態に変化はなかった。胎動に関して指導する施設は増加した。

妊婦健診と超音波検査を負担に感じている医師は1/4強に上った。

一時の産科医療、周産期医療の崩壊現象に歯止めがかかっているとはいえ、医療提供体制が十分でなくなってしまった状況は依然として続いていて、短期間での好転は難しいと言わざるを得ない。少なくとも母子保健の現状を維持するためには、新たな健診体制の構築が求められる。特に、一次施設においては、全ての妊婦を医師が診察するのではなく、リスクの程度や妊娠週数によるトリアージによって、助産師や看護師など分娩に携わる関係者との「協働」管理体制の構築を考えてしかるべき時期に来ていると思われる。